

136 コルリ

(スズメ目)

兵庫県ランク:B

Luscinia cyane

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北・中部では夏鳥、本州南部、四国、九州では旅鳥とされるが、高山では少数が繁殖する。兵庫県では主に4-9月に見られる。標高の高い山地の針広混交林や落葉広葉樹林に生息し、崖地や地上に営巣する。低木や下枝がよく繁った林を好み、昆虫類、クモ類、ミミズ類などの小動物を食べる。渡りの時期には、山麓の低木林や雑木林、広葉樹の繁った林を通過する。



写真提供: 松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、沖縄諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、養父市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクに変更。
多くは県の北部と南部で春秋の渡りの時期に記録される。氷ノ山や扇ノ山周辺には少数が生息し繁殖している。

保護上の留意点

繁殖期に生息している場所は極めて限定されるので、その場所の森林植生を現状のまま広く保存すること、また、渡りの時期に利用する低山や山麓の広葉樹林の保全育成が重要。